

NPO法人古賀志山を守ろう会活動記録

活動日	令和6年4月11日（木）定例会		活動場所	篠井町山林	
活動内容	檜丸太半割作業及び搬出				
参加者	大出 忠	平野 昭夫	三輪 健治	村田 鉄三	藤沼 力
	原田 昌廣	奈良 忠男	佐野 久雄	下田 克明	生井由紀夫
	田村 榮	箕輪 幹夫	増田 弘文	武井 収	池田 正夫



篠井町の山林に集まること都合4度目。この日の作業は三班編成で行われた。

檜丸太の半割作業班は、丸太材を治具の上に乗せ、三台のチェーンソーを効率よく使って半割作業を進めた。手慣れた操作で作業も順調に捗り腕前を見せてくれた。怪我もなく終わったことは何よりの成果である。

別動班は富士見沢堰跡の丸太橋に使用する丸太材（5M）を各自がスリングを用意して運ぶ作業に従事した。重量のある丸太材はずっしりと重く人数を必要とする。この丸太材は日を改めてトラックをチャーターして現地の近くまで運ぶ予定である。富士見沢の堰跡に架かる朽ちた丸太橋が美しい丸太橋に生まれ変わる日を夢見て黙々と運んだ。



運搬作業班は半割した材料の軽トラックに乗せ、古賀志町まで3往復して運んだ。古賀志町での荷下ろし作業にも人数が必要であることから別の自家用車に分乗して移動した。この日、三班編成に協力してくれた会員の労力に感謝したい。同時に改めてこの檜材を提供して下さった篠井町の阿久津茂さんに感謝と御礼を申し上げたい。